



2025年(令和7年)7月15日

第77号

発行



一般社団法人

尼崎市手をつなぐ育成会

尼崎市東七松町1丁目2-21

TEL(06) 6480-5845

FAX(06) 6480-5846



E-mail / HP



## 育成会活動は「温故知新」の精神で

私たちの尼崎市手をつなぐ育成会は、昭和34年に17人の母たちによって立ち上げられましたが、今年の3月で66年の月日が経過しました。当時の社会は障害に対する理解が乏しく、養護学校もなく、障害のある人が教育を受ける機会もままありませんでした。

そうした時代背景の中、子どもの将来を案じた先輩方が、親同士のつながりを強固にしながら、教育の場を確保する運動を起こしました。あこや学園(児童発達支援事業所)は学校に先駆けての開園となり、小学校高学年の子どもたちもしばらく通園していたと聞きます。

学校の次に必要だったのは、卒業後の進路先でした。働く場としての小規模作業所を自主運営し、卒業生が増加、飽和状態になるころには、育成会を母体とする「社会福祉法人 福成会」を立ち上げました。設立にあたっては、公園清掃やバザーなど、親たちが自らの労働力で活動資金を蓄え、多額の寄付をすることで、「清流園」や「塚口福成園」、「杭瀬福成園」、「あいあい」などの通所施設を開所し、尼崎市立まつば園も「サポートセンターまつば」に生まれ変わりました。さらに、障害のある人の将来の自立のため、兵庫県単独事業の「訓練ホーム」や「生活ホーム」、育成会独自の事業として、学齢期の「宿泊訓練」も行いました。

そして、こうした事業の傍ら、利用者が毎日通所するための送迎サービスがない中で、親が送り迎えすることが当たり前になってはいけなと一念発起し、バスの手配や添乗まで、一から送迎サービスのしくみを構築。制度に先駆けた実績により、後に送迎加算がつけられることとなりました。また、居宅介護や移動支援などの事業のために、新たに「ピースヘルプ協会」を設立。あらゆることも先んじて取り組んでられました。

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会

会長 鳥居 祐紀

このような育成会活動は、全国各地で繰り広げられましたが、令和の現代に、私たちが当たり前享受している障害福祉サービスや特別支援教育、障害のある人を取り巻くさまざまな法制度は、何もないところから作り上げてこられた先輩方の実績と信用があって整備されたものです。育成会は今や知的障害類型きっての障害者団体として、中央行政はもとより、県や市行政とも連携し、障害のある人の権利擁護や政策提言なども積極的に行っています。これら数多ある利他の活動が、現在の「放課後等デイサービス」を含む、数々の障害福祉サービスの礎になっていることは言うまでもありません。

しかしながら、近年は会員の高齢化や新規入会者の減少、共働きなどの家族の在り方の変化等によって、会員同士、顔を合わせる機会を設けるのも難しくなってきました。とはいえ、SNSなどでの情報があふれる中でも、やはり横のつながりを求める人は絶えません。これからの会活動は、どの世代の人も、一人一人が孤立することのないよう、「手をつなぎ」、知恵を出し合いながら、その世代にあった進め方で工夫していければと思っています。当会のAプロジェクト委員会での、年代別の活動を足掛かりにして、さらなる会活動の充実に努めてまいります。

今年度は理事や監事、委員の皆さんの改選の年となり、新メンバーでの活動が始まります。各委員の皆さんに、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

最後に、この度ご退任の皆様には、長らく育成会活動にご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

(令和6年度決算総会より抜粋)



## 就任のごあいさつ



尼崎市教育長 森山 太嗣

このたび、本年4月1日付けで尼崎市教育長を拝命しました森山 太嗣（もりやま ふとし）でございます。

平素より、「尼崎市手をつなぐ育成会」の皆様におかれましては、本市の特別支援教育の振興にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私の元職は尼崎市の行政職で、教育委員会事務局での勤務の後、直近の配属先のこども青少年局では、こども・若者施策、子育て支援施策や、こどもの権利擁護施策にかかわってまいりました。今年度から10年振りに教育委員会への復帰となり、身に引き締まる思いで、その職責の重さを痛感している毎日でございます。

私自身、小学生の時から本市で育った「あまっ子」で尼崎が大好きです。これまでの経験も活かし、都市伝説的な本市のネガティブなイメージを一掃しこどもファースト、かつ、こどもセンタードを基本として「尼崎の教育の価値」を高めていけるよう、微力ではございますが、教職員とともに全力で取り組んでまいります。

さて、学校現場におきましては、近年、教育上特別の支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援教育支援員や生活介助員等の人的支援を整備するなど、支援体制の整備と充実を図るとともに、

エレベーターの設置を計画的に進めるなど、基礎的環境整備を行っております。

また、医療的ケアに関しましては、あまよう特別支援学校において、医療的ケア児の健やかな成長を促し、かつ保護者の離職を防ぐという観点のもと、登下校時の保護者付き添いの軽減、そして解消に向けて地域の病院とともに学校長と保護者と話し合いながら進めております。

加えて、教職員の専門性の向上を図るために、各学校園において、管理職、特別支援教育コーディネーター等を中心として、校内研修の充実を図るとともに、特別支援教育ハンドブックを作成し、教職員が何か困ったときや特別支援教育の仕組みについて知りたいと思ったときに活用できるようにしています。

育成会の皆様におかれましても、同じ世代の保護者同士が悩みを相談したり、先輩の保護者の方からの経験談を聞いたりしてお互い助け合うなど、何よりも人との「つながり」を大切にされているとお聞きしております。引き続き、本市の教育に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、育成会の今後益々のご発展とともに、関係する皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

## ♡まんまるはーと報告 (知的障害疑似体験グループ)♡

12月17日兵庫県警察学校にて兵庫県内の警察署で日々捜査や取り調べなど行っている警察の方に向けてのワークショップを行いました。

近年、兵庫県の警察関係者からの依頼が増えたと実感しています。警察の方も障害者に対してどのように接すれば良いのか真剣に取り組まれていて、親の立場からすれば嬉しい限りです。



ワークショップの様子



## 就任のごあいさつ



兵庫県立阪神特別支援学校

校長 榎本 好子

はじめまして。この4月に兵庫県立阪神特別支援学校に着任いたしました榎本好子です。

本校は、西宮市の北東部に位置し、東には武庫川が流れ、西には六甲山系を仰ぎ見る自然豊かな環境にあります。昭和40年5月1日に尼崎市立尼崎第二養護学校として開校し、昭和50年1月1日に県立へ移管され、昨年度には創立60年、分教室開設10年という大きな節目を迎えました。令和7年度は、次の新たな一步を踏み出す年となります。

現在、児童生徒数は小学部121名、中学部96名、高等部204名（訪問学級1名、分教室47名を含む）、計421名が在籍しています。学校の場所は西宮市ですが、通学区域は尼崎市全域および「ななくさ学園」で、一部自力通学生を除き、スクールバスで登校しています。

本校の校訓は「明るく たくましく 心ゆたかに 活気ある学校」です。学校教育目標は「児童生徒一人一人が、自立と社会参加をめざし、主体的に考え、行動する力を身につけられるよう、必要な知識・技能・態度及び習慣を養う」ことです。

教育活動においては、「つなぐ」「つながる」をキーワードに、児童生徒の発達段階や個々の教育的ニーズに応じた合理的配慮を行いながら、

キャリア教育や進路指導、訪問教育、人権教育、交流及び共同学習など、多様な取組を推進しています。

また、地域と関係機関との連携を深め、信頼される学校づくり、地域とともに歩む学校づくりを進めています。

県立武庫荘総合高等学校内に設置された分教室では、高等学校との日常的な交流及び共同学習や地域のみなさまとの交流を推進するとともに、体験的・実践的な学習を通して、社会自立・職業自立に向けた教育を行っています。分教室の生徒が月2回程度、尼崎市営時友団地集会場でお店する喫茶店「TARO COFFEE」は、地域の方々がご来店くださり、いつも盛況です。生徒のおもてなしを地域のみなさまに喜んでいただいていることをうれしく思うとともに、みなさまからの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

これからも、児童生徒一人一人が卒業後も地域において皆様と共に、明るく、たくましく、心ゆたかに生きていけるよう、教職員一同、力を合わせて教育の充実に努めてまいります。尼崎市手をつなぐ育成会をはじめ、関係機関、地域のみなさまには、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

知的・発達障害の方は十人十色一つの答えは無いですが、優しい声かけ、親や支援者を呼んで欲しいなど双方がスムーズに解決出来る話などさせてもらいました。

また私たちも子どもが犯罪に巻き込まれないように考えていかなくてはならないと感じました。

### 令和6年度活動

6/13 虐待防止委員会

8/3 みんなのサマーセミナー

9/3 キャラバン隊研修会

9/10 県警察学校

10/6 ミーツ・ザ・福祉事前研修

10/18 県警察本部職員研修

10/24 県新任職員研修

12/17 県警察学校





## 成年期バスツアー

～いちご狩り&くろまろの郷～

令和7年3月1日

今年度のバスツアーは31名の親子が集い「いずみ小川いちご農園」と「くろまろの郷」へ行きました。当日はお天気にも恵まれ、いちご狩りではたくさんの種類のあま〜いイチゴをお腹いっぱい食べました。

道の駅くろまろの郷では食事や買い物を楽しみ、車中ではお約束のビンゴゲーム大会で盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。



## 成年期研修会

### 「65歳問題・障害福祉サービスと介護保険について」

令和6年10月21日

場所：中央北生涯学習プラザ

参加者：24名（外部2名含む）

講師：尼崎市障害福祉課政策担当 山崎課長、南部障害者支援課 西田課長  
北部障害者支援課 塩谷課長、介護保険事業担当 田中氏

65歳になると介護保険サービスに移行しないといけないの？今まで通りのサービスは使えるの？など、不安や疑問の声が多くあり、行政より講師をお招きして詳しくご説明いただきました。

★介護保険制度への移行期における障害福祉サービスの利用について

★介護保険制度の概要 など

不安要素だった障害福祉サービスの利用については、障害福祉固有のものは引き続き利用できるということが分かり安心しました。また、色々な悩みや不安も南北の障害者支援課で相談に乗ってもらえると教えていただき、有意義な研修会でした。



## 兵庫県手をつなぐ育成会 出前研修会

コース③ お金について考える  
～考えてみませんか、子どもの将来～

2024年11月13日(水) 中央北生涯学習プラザにて／参加者35名

講師 兵庫県手をつなぐ育成会 井上三枝子 理事長

全育連 又村常務理事による研修動画「障害のある人の暮らしとお金について」を視聴



障がいのある人の暮らしには、生涯でいったいどれくらいのお金がかかるのだろう・・・  
「親なき後にどれくらい残せば？」「今からできることって？」不安は尽きませんが、この研修会では本人のライフステージと親の年齢を関連付けて考える内容で、シミュレーションに基づいた具体的な数字を見ることができたので、すべての世代の人から好評でした。

また、将来へ向けての私的な備えや（信託や保険、共済など）、現在ある公的な制度についても学び、また、「成人前は、保護者が手当を受け取り、世帯の収入によって暮らす、成人後は、本人の収入（工賃や給料、障害基礎年金など）で生活をまかなう」ことから、いかに年金が本人の生活に重要であるかを痛感した研修となりました。

# Aプロ委員会活動報告

## AプロⅠ

### \*子育てカフェ

- ・7/17(水)「就学前相談会」
- ・10/16(水)「小学校&小学部の子の親の情報交換会」
- ・2/12(水)「高校(高等部)卒業後の進路選択について」

### <令和7年度予定>

- ・子育てカフェを継続
- ・就労支援B型レストランでの食事会 など

## ★委員会…R6. 5/7、7/2、10/16

1. 「もし、地震が起きたら…」プリントの改訂版作成
2. 「171 災害伝言ダイヤル」のお試し運用
3. 「品川区避難所運営訓練」you tube 視聴
4. まんまるはうすの備蓄品のチェック
5. 防災に関するミニ情報や商品紹介

### <R7 年度予定>

- ・防災について
- ・障害者の選挙について検討
- ・まんまるはうすの備蓄品補充検討 など

## AプロⅡ

## AプロⅢ

### \*チームⅢ R6 年度活動報告、R7 年度活動予定

委員会…R6. 4/26、6/6、8/22、9/19、11/14 R7.3/14 小委員会…6/18

### ★R6 年度活動報告

1. ①GH・入所利用希望、②GH・入所を利用している家族、①②のアンケート実施  
⇒アンケート結果は「土と芽だより」150号掲載(右のQRコードからご覧ください)
2. GH・入所を利用する際に準備していると役立つハンドブックを作成⇒R7 年度にまとめる
3. GH・入所施設利用時の一時金について⇒「土と芽だより」149号詳細掲載
4. 施設見学(チームⅡ合同)⇒1/21 兵庫県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム「万寿の家」見学

### ★R7年度活動予定

1. GH・入所施設利用者のお金について
2. GH・入所を利用する際に準備していると役立つハンドブックを今年度中に作成
3. 施設見学



## 第15回 権利擁護セミナー(in 兵庫)

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会 権利擁護センター 主催  
公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 共催

### 『誰でも住み慣れた地域で幸せに暮らそう！～強度行動障害の人の集中的支援を学ぶ～』

令和7年1月31日(金) 12:30～16:00 尼崎商工会議所にて /参加者58名

強度行動障害のある人に、あともう少し適切な環境と支援があれば、住み慣れた地域で幸せに暮らしていけるはず…兵庫県では、緊急性のある強度行動障害者を集中支援し、事業所の支援員スキルを向上させ、再度地域で生活を送れる仕組みを構築、2019年に県単独事業「強度行動障害地域生活支援事業」が創設されました。実際に、どのようにアセスメントを取り、先回りの支援を通して「(問題行動を)しなくても済んだ」という【成功体験】を積み重ねていくのか、実践例を交えての講演でした。本当に困っている人が一日も早く安心して暮らしていけるように、私たちができることをこれまで以上に前に進めていかねばと感じました。

1. 強度行動障害児者支援に関する行政説明/田中 正博 氏(国立のぞみの園理事長)
2. 「行動障がいを抱える重度知的障がいの者の地域生活を考える  
～兵庫県強度行動障害地域生活支援事業を通して～」/  
社会福祉法人あかりの家 自閉症総合援助センター施設長 坊垣 勝彦氏
3. シンポジウム 『住み慣れた地域で幸せに暮らそう』
  - ・(社福)はるにれの里 佐藤 貴志 氏(札幌市)
  - ・(社福)邑元会 相浦 卓也 氏(埼玉県深谷市)
  - ・(社福)福成会 笠井 喜世志 氏(尼崎市)





## 学齢期の活動

# みんなで『神戸須磨シーワールド』へ行こう！

2024年11月24日(日)

今年度はバスツアーの代わりに、遠足を企画しました。現地集合にしたので、約半数がマイカーで、残りの参加者は公共交通期間を使つての移動となりました。総数72名という大所帯でしたが、特に遅延などもなく無事に入館予定時刻に入場出来てよかったです。

集合写真を撮った後は自由行動となり、オルカショーやドルフィンショー、展示をそれぞれ楽しんでいました。

参加者からは楽しかった!の声とともに、母と子、父、兄弟だけでなく祖父母も含めた3世代の楽しい思い出になったのではないかと思います。また、学年が違う子ども同士一緒に行動する場面も見られ、良い出会いにもなったようです。



## 研修会

## RPM 講演会

2024年5月15日(水)

於:中央北生涯学習プラザ 参加者34名

現在、知的障害や自閉スペクトラム症について、原因やメカニズムははっきりと解明されていませんが、RPMでは、それらの障害を持つ人の学習能力や理解力は決して乏しいわけではないと考えます。その人の年齢相応の教科学習を取り入れ、レッスンを行います。子どもの生活スキルを向上させ、知識を増やしていくメソッドで、決められたやり方通りに順を追って少しずつ進めていきます。

私たちの固定観念を覆すような教育法ですが、まだ日本ではあまり知られていません。子どもの成長の可能性をあきらめないーそんな鈴木先生をアメリカから招き実際にお子さんを指導している様子を動画で見ながらトレーニングの成果や方法を解説してもらいました。



## 令和6年度 阪神地区保護者研修会

令和6年10月10日 木曜日 10時30分～12時30分

尼崎市立小田南生涯学習プラザにて／ 参加者 185名

今年は尼崎市手をつなぐ育成会が研修会を担当し、松本市長をはじめ、たくさんのご来賓の方々や阪神地区七市一町の会員の皆さんにお越し頂きました。

私たちは平常時から災害への備えとして「自助」について学び、準備を進めていますが、「公助」「共助」は自治体によって異なります。今回は尼崎の「公助」「共助」についての取組を紹介し、①災害時の困りごとであるトイレ問題に関して知識を深めるため、ライフラインである下水道直下型マンホールトイレについての講演を聞き、②能登半島地震でボランティアをされた2名の方のお話から実状を知り、どのような備えが必要かを学ぶ機会としました。

### 「災害時の避難生活にどう備えるか」

#### ① 「マンホールトイレ～災害時にトイレが使えなくなったら～」

尼崎市公営企業局 上下水道部 下水道建設課 山本俊輔 様

#### ② 「能登半島地震における災害ボランティアを経験して」

株式会社あふリズム 中川陽介 様

社会福祉法人福成会 清流園 上田航太 様

コーディネーター:兵庫県立大学大学院 社会科学部 教授 木下隆志 様

三者ディスカッション





## 退任のご挨拶

### ＊吉岡 かほる(監事)

書記・本部・監事として大変お世話になりました。「措置から契約へ」の研修会が何度もあり法律や制度が大きく変わるのを肌で感じました。先輩から引き継いだ活動を基に新たな事業を始めた時期もありました。誰もが尊ばれる社会になってほしいと願っています。ありがとうございました。

### ＊山畑 佳子(監事)

この度育成会の監事を退任する事になりました。地区理事、本部役員、監事と育成会に関わり、特に地域活動センターかがやきの運営に参加出来、たくさんの学びもあり、大変貴重な経験となりました。これからも子供たちの幸せのために、育成会活動が盛んに続けられますよう心より願っています。

### ＊加藤 智子(本部理事)

本部には子供が高等部3年の頃から、最初は学齢期として、その後は成年期でバス旅行や、バザー、研修会など、お手伝いさせて頂きました。ご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、理事や会員の皆様が、温かくフォローしてくださって、本当に有難かったです。これからは、会員として色んな活動に参加していきたいです。

### ＊森本 由香(あこや学園)

1年間お世話になりました。育成会の理事をさせて頂いて障がい者への理解も深まりましたし、とても勉強になりました。なにより皆さんあたたかくてお子さんとしっかり向き合っている姿にとても励まされました。ありがとうございました。

### ＊宮城 美津子(小田・園田地区)

退任の挨拶として、うーん困った。何も出てきません。いろんな所に行ってたくさん勉強させていただきました。少しはお役に立てたでしょうか。どんなに利用出来るサービスが増えても母の悩みは必ずあるもの。力になれる育成会であってください。ありがとうございました。

### ＊今津 あつみ(立花・武庫地区)

立花武庫地区で2年間 地区理事をさせていただきました。以前 地区理事をさせていただいた頃よりずいぶん地区理事の仕事内容も少なく誰もが地区理事を引き受けてくださりやすい内容となり本部役員の皆様のご配慮に感謝申し上げます。色々と勉強もさせていただきました。つながりもまた大切です。これからも育成会会員の一人として A プロⅢの委員でもお世話になります。今後ともよろしくお願いいたします。

### ＊大坂 早永(本部理事)

あこや在園時から6年間、書記と本部役員を担当させていただきました。新しい企画に悩む事もありましたが、役員、理事の皆さまにアドバイスをいただいたり、暖かく見守って下さったおかげで楽しく活動することができました。ありがとうございました。

### ＊堀 未季子(中央・大庄地区)

育成会の活動を通じて、皆さんと一緒に色々な経験が出来たこと本当に嬉しく思っております。2年間という短い間でしたが、ありがとうございました。今後も、育成会がより一層発展していくことを心から願っております。

## 令和6年度 要望書

### 1. 地域で安心して暮らせる尼崎に

- 積極的な高齢化対策
- 緊急時のショートステイ受け入れ態勢の確立(児童)
- 高等部在学中から将来を見据えて放デイから移動支援サービスへの移行に柔軟な対応
- 不登校・引きこもりの児童生徒を対象とする子どもの柔軟な在宅支援(精神科の往診やオンライン診療)
- 福祉支援員・相談支援員・ガイドヘルパー(特に行動援護対応可能なヘルパー)の人材確保
- かかりつけ医機能が発揮される制度の整備
- 災害時・感染症対策における知的障害児・者への適切な対応
- 障害者への虐待防止対策

### 1. 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育の推進

- 1. ICTを活用した自立活動等で、教育効果が高まるような方策
- 1. 切れ目のないインクルーシブな生涯学習
- 1. 兵庫県立阪神特別支援学校を市内に移転

令和6年度尼崎市への要望書を提出しました。詳しい要望・回答については下のQRコードからご覧いただけます。







## ～新役員紹介～

### 【本部】



右より  
井上(由) 竹田 津藤 本  
岩永 鳥居 山本

### 【地区・施設】



右より  
阿部 新里 杉浦 田中  
芦田 沢田 上野 岩相  
田 田 山 木

### 【監事】



井上(三) 井上(恵)

### 【書記】



横山 十河



## 令和6年度賛助会員

今年度も賛助会員を募ったところたくさんの方からご賛同を頂きました。ありがとうございました。今後ともどうかよろしくお願いいたします。

相木 カ子	岩本 光男	川畑 秀子	杉永 愛子	鳥居 祐紀	前田 香織	山川 敏彦
嵐 俊明	上嶋 梓	儀間 正則	杉本 美智子	西岡 幸雄	前田 桂子	山崎 富美子
伊瀬 弘隆	太田 多津子	合田 小枝子	瀬田 幸子	西山 豊子	前田 實	山畑 佳子
伊東 繁夫	大谷 吉之	近藤 しのぶ	征矢 美香子	原田 真由美	勝 忠徳	山本 千枝子
伊藤 そと美	笠井 喜世志	斉藤 忠男	竹内 央	樋口 愛子	松本 浩子	山本 千里
井上 憲英	勝野 誠	佐藤 義春	田中 栄治	樋口 満昭	満永 祥作	山元 拓馬
井上 三枝子	加藤 智子	沢田 道代	田中 宣江	日高 京子	宮下 哲	吉岡 かほる
井上 義夫	加藤 泰子	嶋内 良則	田中 文子	福井 美智恵	村中 克利	放課後
今川 三男	金田 健治	霜竹 利嗣	近友 和美	福島 清美	森 康祐	デイスサービス
岩川 きよみ	川口 直子	福満 久晃	戸田 稔	藤井 宏	森實 道仁	桜の木
岩永 ゆかり	河地 一成	白石 幸代	友永 和也	藤村 秀雄	森山 茂	(敬略称・順不同)

### ～賛助会員募集のご案内～

尼崎市手をつなぐ育成会では知的障害のある人の支援を目的とし、内外の皆さまからの賛助を募集しています。ご賛同いただける方は、下記の振替口座へお振込み下さいますようお願いいたします。

賛助会費： 一口 1,000円 金融機関： ゆうちょ銀行 支店名： ○九九 種別： 当座  
口座番号： 0243120 受取人名： イッパンシャダンハウジンアマガサキシテヲツナグイクセイカイ

## 放課後デイ等 事業者の皆様へ

育成会では、この度、団体賛助会員を創設しました。職員向け研修動画の提供や、利用者のご家族様への相談援助としての育成会役員の派遣など、様々なメリットがありますので、ぜひご検討ください。

- メリット1: 機関紙「手をつなぐ」を毎月お届け！
- メリット2: 児童発達・放デイの「家族支援加算」取得をサポート！
- メリット3: 職員向け研修にも活用可能な有名講師による研修動画を無償提供！

会費(年額) 一口 30,000円

## ご寄付いただきました！

清流園 伊藤 そと美 様  
塚口福成園 山本 千枝子 様

🌸 ありがとうございます 🌸



## ★★編集後記★★

決算総会後、役員も新体制になり、初めての「土と芽」の発行となりました。これからは会員の皆様には、様々な年代のニーズに合わせた情報や活動の様子などをお伝えしていきたいと思っております。最後になりましたが、お忙しい中原稿をお寄せいただいた皆様ありがとうございました。

